

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	新日本無線株式会社	事業所名	川越製作所				
取組措置		具体的取組措置			H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	運送業者の環境教育実施確認 粒子物質減少装置の装着を項目として設定している。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	配送車の給油量の把握			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	半導体製品製造用部材の購入運搬における通い箱活用			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	チャーター便の場合、貨物量に応じた車種を依頼している。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	預託薬品搬入、ボンベガス類の混載便の利用促進。 関係会社及び預託薬品、ガスボンベ等の帰り荷の運送実施			○	○	○
05	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	運送業者へのエコドライブの要請			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 計画的な貨物輸送の推進 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	外注工場からの納品・部品引取時間のルール化	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 ----- (02) 多頻度少量輸送の見直し	外注工場への納品計画の提供	○	○	○
07 物流の効率化 ----- (01) サードパーティーロジスティクスの活用	タイ バンコク倉庫運用を委託	○	○	○
07 物流の効率化 ----- (02) 物流拠点の活用	タイ バンコク倉庫稼働による物流の効率化	○	○	○
07 物流の効率化 ----- (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	タイ バンコク倉庫稼働による物流の効率化	○	○	○